

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-4-20-102

2016年4月号《No.10》

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

今月の聖句

イエスは彼に言われた。「私は道であり、心理であり、命である。
だれも私によらないでは、父のもとに行くことができない。」

ヨハネによる福音書 14章6節

主題

国際会長	Wichian Boonmpajorn	「信念のあるミッション」
アジア地区会長	Edward K.W.Ong	「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事	渡邊 隆	「原点に立って、未来へステップ」
あずさ部長	標 克明	「ワイズメンとして一歩前進」
武蔵野多摩会長	宮内 友弥	「共に学びあい、活かされる社会を目指し」

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさたろう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。

2月の出席率 92.85% 在籍者 14名 出席者 13名 メネット1名 ゲスト5名

にこにこ 15800円 (3月) 16177円 (4月)

芸術と経済

宮内 友弥

4月例会は、美術鑑賞と経済問題の異なる分野を学ぶ一石二鳥の例会でした。「たましん地域文化財団」常務理事綿引康司さんを卓話者にお招きし17時より1時間綿引さんが館長を務められている「たましん歴史・美術館」を鑑賞。「たましん歴史・美術館」は、たましん国立支店6階にあり専属の学芸員が居られ丁寧に作品の説明をしていただいた。多摩に関係のある画家の作品が主に収蔵されており年に4~5回作品の入れ替えを行っているとのこと、機会があれば又行ってみたいお薦めの美術館です。

美術館での鑑賞の後、18時15分より場を定例の西東京センターに移し綿引さんの本来の専門分野であり今話題の「マイナス金利」についてお話をしていただいた。素人にとって取っ付き難い専門的な事柄をわかりやすく、問題点も含め解説していただいた。そもそも「マイナス金利導入」を決定した本年1月の日銀金融政策決定会合では、黒田日銀総裁から唐突に提案があり、会合メンバーである日銀政策委員9人のうち賛成5人反対4人という際どい票差でこの重要決定がされたものである。その後の新聞報道によるとこの時反対票を投じた委員2名が退任しその後任には賛成派2名が任命されている。アベノミクスを何が何でも推進しようとの強引さに、危うさを感じるのは私一人ではないでしょう。

折しも国際NGO「国境なき記者団」が発表した「報道の自由度ランキング」で日本は2010年には11位だったのが今年は72位。(国境なき記者団は「とりわけ安倍首相に対して自主規制が働いている」との見解。)これに対する官房長官の「表現、報道、編集、そうした自由は極めて確保されている」と全く意に介さない発言と重ね合わせ危惧の念を抱かざるを得ません。

2016年4月例会の様子

日時 4月13日19時 会場 西東京センター

司会 山口ワイズ 聖書・祈祷 伊佐ワイズ 受付 渡辺・松田ワイズ

ゲスト 浅羽 俊一郎山手クラブ会長 小口 多津子ワイズ(八王子クラブ)

玉田 洋子さん 林 雅彦さん 武蔵野多摩クラブ見学と吟味

卓話「マイナス金利を中心に考える」 綿引 康司氏 多摩新クラブ(仮称)チャーターメンバー

当日例会前に、たましん美術館(多摩市所縁の画家中心)を見学。多摩信用金庫地域文化財団は季刊出版物「多摩の歩み」の地域に深く根付いた二つの柱をもっている。今日の卓話者綿引氏は昨年からの館長さん。

生え抜きの多摩信マン。語り終わったとき、おもいのたけを話せたと晴れ晴れした笑顔がとても印象的だった。場違いの世界を生業としていた私くしがそれをどれだけ文字に置き換えられるか……。とにかくやってみます。

バブル崩壊後、世界の経済界は大きく変化しています。各国の中央銀行(日本は日銀)はインフレファイターと呼ばれ各国の経済の安定を維持するため金利操作でインフレ防止をしてきました。

かつて労働組合に力があつたころには賃上げが毎年実施され、プラスのサイクルが或るときから企業が利益を得るため労働組合をつぶしていった為経済が硬直し設備投資が増え供給が増えデフレになった。これがここ数十年間の流れです。(労働組合)がこれからのキーワードになると思います。賃金上がることは経済を活性化することです。

日銀は経済成長とインフレが起こるバランスをとる金利操作をしてきましたがしかし2000年以降は先進国経済の成熟でデフレとなりそのコントロールに金融緩和策が顕著となっています。

日銀の現在の政策目的は金利緩和策つまり金利を低下させることでデフレ経済下のインフレ率2%に持って行き景気を良くすることです。

この考えで日銀はバブル崩壊以来ずっとやっています、ゼロ金利政策は記憶に新しいと思います。

量的緩和策、世の中にお金を溢れるほどだし金利は下がらないが物価は上がる。

質的緩和策、流動性を供給する際に年限の短い国債や手形といった旧来資産の買い入れ、長期国債など多様な質の金融資産を買い入れる政策を言い現在アベノミクスで機能しているものはこれしか無いと思われます。

金利はゼロが最低だと考えられていましたが平成28年1月29日日銀政策決定会合で黒田総裁の突然の提案で5:4のマイナス金利政策になりました。

意図はそれにより設備投資や賃上げにより個人消費の活性化の促進をする。

日銀公約の物価上昇率2%を目指す。

下限とされた0%とされた緩和策がマイナス金利によりさらに金利引き下げができる等々考えられます。

マイナス金利への反応と受け止め方は中国経済は相当厳しい、米国景気は予想ほど強くない、原油価格の下落から外国人のリスク回避の動き、円高、株安長期金利低下となりアベノミクス失敗論に繋がっています。

預金者の負担拡大、利息収益は考えられなく年金生活者には厳しく預金者は手数料を支払う可能性が出てきた。今年度より本格実施されるマイナンバー制度は預金の所在や額がガラス張りになり資産家の現金所有に拍車をかける。10年の長期金利が0%ということでは日本経済は成長しないことになります。

綿引氏の危機感はまだまだ会場中に響き渡った。

私の思いはパナマ文書にとんだ。タックスヘイブンは世界に100から150か所あるという、それそのものは合法であってもその使い方、大金持ちや大企業の大株主の資産隠しや税金逃れのニュースに腹の底から突き上げるぞろぞろしさを身近に感じた。

CS・国立桜フェスティバル

伊佐 節子

4月2日・3日と恒例の国立の「さくらフェスティバル」にYMCA西東京センターのメンバーと東京武蔵野多摩クラブ合同で参加。

天気は曇天、時折小雨と肌寒い初日の始まりでしたが桜は満開でした。

今年は、2月に入会された、板村、大輪、麻生さんがバザーの準備から、両日のバザー期間に加わって下さったのが何より嬉しいことでした。

メンバーが増えることの有り難さを感じた「さくらフェスティバル」でした。

日頃、忙しい石丸メンバーが時間のやり繰りをつけて、値付けから祭り期間中参加。バザーのオーソリティーの彼女の参加で一段と盛り上がりました。

頼りになる姉御です。

YMCAのリーダーのブースでは、無料のクラフト作りに子ども達が集まり、期間中300人弱の参加がありました。

毎年、さくらフェスティバルに参加して、国立地域の皆さんにYMCA西東京センターのアピールを行い、地域密着の活動展開を目指しています。

また、ワイズは、ワイズの活動を紹介して、地域での活動をめざし、地域の会員増強につながるきっかけ作りになればと毎年参加しています。

あずさ部のCS基金が昨年続き3度目の「さくらフェスティバル」への支給決定となりました。有効な種が蒔かれることを心から願い、CS活動を展開しています。

バザーの売上金は3万数千円になりました。詳細は後ほど報告があると思います。

皆様の献品、基金はYMCA西東京センターの地域活動の基金になります。

ご協力頂いた皆様に心から感謝しお礼申し上げます。皆さん有難う！

初めての桜まつりに参加して思ったこと

大輪 匡史

初めての桜祭り参加に、朝から気持ちウキウキでした。仕事の為 半日しかお手伝いできませんが、頑張ろうと～！二つのブースにワイズさんと職員の方が別れて いざ出陣です

ワイズは、バザー、職員さんは子供たちに 彫刻で、命プレート作りの指導、皆さん和やかに楽しんでいらっしゃいました。

少し残念な事は、職員の方とワイズの皆さんが 別の方向を向いてしまっていて、交わりが感じられない気がしました。同じ目的の為の活動なのに、私は 何をしたら良いのか 判りませんが、沢山のお子さんが、YMCA

と関わりたいと思える企画に変えてみては、いかがですか？来期は、もう少し私も企画から お手伝いできればと、水曜日に皆さんで話し合いできれば、考えています！

＜西東京 YMCA 便り＞

出沼一弥

はじめまして、4月1日から西東京センターの一員になりました出沼一弥(いでぬまかずや)と申します。武蔵野多摩クラブの担当主事を務めますことをとても嬉しく思っております。早くみなさまの仲間のひとりと感じていただけるように、まずは私のことを知っていただければと思います。

私とYMCAの出会いは、東京YMCA 英語専門学校に入学したことから始まります。イギリス留学から帰国しYMCAに決めたのは、国際的な団体で英語教育の歴史と実績があること、そして見学へ言った時の館内案内や説明をしたスタッフの熱量と笑顔、人との接し方がとても心地良かったからです。入学後山田公平氏(当時校長)との出会いは自分を大きく変えました。授業内容や講師についてなど意見を求められたのもありましたが、生意気にも思っていることを素直に伝えてもきちんと受け止めてもらえる喜びがありました。就職せず教師になるために通信制大学に入学を決めた時も、「先生になりたいなら経験したらいい」とちよどその年の9月に東京YMCAで開設するフリースペース(後のliby)の担当主事の秋田正人氏を紹介してくださいました。libyで秋田氏と一緒に働いたことも自分が大きく変わるきっかけになり、不登校になる子どもやひきこもりの若者と向き合う時に、自分の価値観で測ったり押し付けたりするのではなく、相手に寄り添う難しさを知りました。その後、YMCAを離れ違う不登校やニートひきこもりの青年層の施設で働き、2009年に再びlibyに戻ってきましたが、離れた後も山手センターのリーダーやボランティアスタッフとして携わっていて、発達障がいのあるキャンプや定例野外活動「きらきら」の立ち上げやパートタイムディレクターも務めました。liby4年、山手センター3年、そして、4月から西東京コミュニティセンターとなりました。

人との出会いを大切にしています。その出会いを通して私が形成され、その出会いの場はいつもYMCAでした。みなさんとの出会いを大切に、一緒にできる活動を楽しみにしています。

＜西東京センター及び東京YMCAの主な予定＞

- 5/1-5/3 ディレクタートレーニング(東京YMCA 山中湖センター)
- 5/3-5 プレキャンプ(東京YMCA 山中湖センター)
- 5/7-8 知的障がい児・者余暇活動「あおぞら・つばさの会」5月例会
- 5/10 ボランティアリーダー説明会
- 5/8 中高生グループ活動「TeenS」5月例会
- 5/15 小学生野外活動「ロビンソン」5月例会
幼児野外活動「にこにこ」5月例会
- 5/16 夏キャンプキックオフ
- 5/19 ボランティアリーダー説明会
- 5/25 ボランティアリーダー説明会
- 5/28 東京YMCA 会員大会
- 5/29 発達障がい児グループ活動「Smile」5月例会
知的障がい児・者余暇活動「シャベルズ・いづみの会」5月例会

5月のハッピーバースデー 清水ワイズ(5・27)

5月例会(5・11) 司会 山本 宏ワイズ 聖書・祈祷 伊佐 節子ワイズ 受付 渡辺 大輔ワイズ

卓話 「アジアで感じた社会的課題」 山田 公平ワイズ 元多摩クラブメンバー 前YMCAアジア太平洋同盟総主事